

社会福祉法人 日の出善隣館 令和4年度 事業報告

1 はじめに

令和4年度も、信頼性と透明性の確保のため、予算・決算・役員の状況、事務執行の状況などを、ワムネットで公開するとともに、法人監事の年度末監査と税理士事務所に依頼しての会計検査を受けました。特に、税理士事務所による会計監査は、毎月実施し、法人会計の処理について指導を受け、適正な会計処理に努めました。

新型コロナに関して、職員8名が感染し、規定の期間の休業をお願いし、感染拡大防止に努めました。また、児童2名も感染し、児童の所属するユニット全体を隔離ゾーンとし、職員2名に担当を依頼し、隔離した形で生活をしてもらいました。児童が濃厚接触者となった場合にも同様の対応をしました。感染拡大を最小限に止められたことは、全職員と児童のおかげでした。その後も、安全に生活し、元気に登校できるように細心の注意を払い、感染防止策の徹底等を図るとともに、少しでも生活に張りがでるように、全体行事や個別行事等も実施するように努めました。

偕生慈童苑は、年度当初、常勤職員21名、非常勤職員4名の25名の体制でスタートしました。年度途中でCW2名、調理員1名が退職し、児童の支援面や勤務調整で対応が難しくなり、コロナ対応も含めて非常に厳しい勤務をお願いすることになってしまいました。正職員の募集だけでなくパート職員募集も積極的にすすめ、2名を採用することができました。職員の人材確保が喫緊の課題ですが、苑での施設見学・仕事説明会には3名の参加があり、1名が新年度採用に結びつきました。

職員の資質向上は、さまざまな事情で入所してくる児童が増えてきている状況やこれからの課題に対応していくためには、必須のことです。リモートでの研修・会場研修等が徐々に実施されるようになり、施設内での研修であり勤務との調整が難しい中、お互いに協力しながらできるだけ参加するようにしました。

入所児童は、当初19名でスタートしました。途中入所4名、途中退所3名、年度末退所2名となり、年度末には18名となりました。年度末退所児の内訳は、大学進学(1)、就職(1)でした。児童も新しい生活様式に慣れてきましたが、やはり今年も不自由を感じながらの1年間だったと思います。外出についても、可能な限り機会をとらえては、少人数での行事や外食のテイクアウト等を工夫していました。年度末には小グループでの会食や宿泊も実施し、楽しく過ごすこともできました。

おくえつ児童家庭センターめぐみでは、785件(-108)の相談・利用がありました。今年度も大野市の乳幼児健診への心理士派遣や奥越地域の市からの要望にできるだけ対応し、さまざまな状況の子どもたちに対応するよう努めました。

里親関連では、今年度は里親紹介パネル展、苑での里親サロンの実施(3回)し、地域の里親さんの交流の場や里親について知っていただく取り組みをしました。更に、里親登録事前実習の場も提供しました。

子育て短期支援事業では、利用者延べ4名延べ利用日数6日(-13)でした。休日や家庭の都合が主な利用理由でした。減少理由は、今までの利用者が、成長と共に家庭での生活ができるようになってきたことです。

地域子育てや公益的な事業に関しては、コロナ禍で集合でのCSPの研修を今年度も実施できませんでしたが、個別研修で対応をしました。更に、状況を判断しながら、ボランティアや大学及び専門学校からの実習生の受け入れは可能な限り実施しました。

事業運営 期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業種別	事業内容
第1種社会福祉事業	児童養護施設 偕生慈童苑の運営(定員32名、暫定定員29名)
第2種社会福祉事業	①おくえつ児童家庭センターめぐみの運営 ②子育て短期支援事業の実施

第1号議案

II 施設運営

< 1 > 児童養護施設 偕生慈童苑の運営（第1種社会福祉事業）

1 児童の処遇

(1) 自立支援計画の策定

今年度も、児童相談所が作成した個別援助指針と苑でのアセスメントをもとに、各担当CWが自立支援計画案を作成し、その後、ユニット職員全員で検討・調整して、令和4年度自立支援計画を策定しました。さらに、学期ごとに評価し、成長に応じた支援ができるように努めました。

(2) 入所児童の変動(各月1日現在実数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男子	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	11
女子	8	8	8	10	10	10	10	9	9	8	8	8
合計	19	19	19	21	21	21	21	19	19	18	18	19
一時保護					1	1		2				
								1				

(+2)

(-2)

(-1)

(+1)

(+1)

(-2)

(3) 1日のくらし

	起床	朝食	登校	昼食	おやつ	夕食	就寝
週日	6:40	7:00	7:30	——	——	18:00	21:00
休日	7:00	7:20	——	12:00	15:00	18:00	21:00

(4) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

余暇活動の種類		時期・回数	備考
ユニット行事(日帰り) 外食・買物・映画鑑賞、		少人数で個人の希望も入れて実施	福井市内、映画館等で感染状況をみながら実施。外食はテイクアウトを利用することも。
ユニット行事(一泊) 温泉、娯楽施設等		適宜実施	コロナ対応をして可能な限り実施
買物(近隣量販店)		毎週土曜・日曜日	状況を見て主に市内で実施。
交流行事・仏教的行事	花苗植栽	5月 8日	中部民生・児童委員協議会
	花まつり	4月10日	釈迦誕生の話、ポーセリンアーツ、ビンゴ
	お盆の集い	8月 7日	お盆のお話、映画鑑賞、西瓜割
	涅槃会	2月11日	お釈迦様の話、読み聞かせ、軽食
	餅つき	中止	西山壮年会からお餅の寄付あり
	激励会・慈童苑祭	3月12日	コロナの為児童と職員のみで実施
自然体験活動	自然観察会・冬の野鳥のレストラン	中止	
奉仕活動	本派クラブ児童奉仕団	中止	8月に計画された後、2回延期になったが中止
大会参加	名水マラソン	5月22日	児童とCWが参加

第1号議案

(5) 健康管理

- 年2回の健康診断の実施
- CWの連携による健康管理・指導
- インフルエンザ予防接種（全員）および各種予防接種
- 栄養士による食事管理
- 寝具類の乾燥（随時）
- コロナワクチン接種（3回目：保護者同意）

(6) 医療体制

○医療機関と連携した入院・通院（ ）は前年比

入院延べ人数 1人(-2) 入院日数 71日 通院延べ人数 259人(+31) 月平均 21.6人(+2.6)
 通院延べ日数 260日(-106) 月平均 21.7日(-8.8) 通院日数 1.0日/人(-0.6)

診療科目	病院名
精神科・発達障害	松原病院・平谷こども発達クリニック・済生会病院・福大附属病院 こども療育センター
内科	済生会病院・薬袋クリニック・栃木産婦人科医院、松田医院
外科	福井勝山総合病院
脳神経外科	済生会病院
整形外科	安間整形外科、福井総合病院
皮膚科・アレルギー	松田病院・若林クリニック
眼科	つるおか眼科クリニック・済生会病院
歯科	九岡歯科医院
耳鼻科	鳥山耳鼻科医院・米野耳鼻咽喉科医院

2 職員の処遇

(1) 職員配置状況

各月1日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
苑長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副苑長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
FSW	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
個別対応	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
CW	常勤	12	12	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10
心理士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	常勤	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
委託医	非常勤	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
	常勤	21	21	20	20	20	19	19	19	19	18	18	18
	非常勤(事務、調理等)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6
	合計	25	25	24	24	24	23	23	23	23	24	24	24

(-1)

(-1)

(-1) (+2)

(2) 健康管理

- 健康診断の実施 年1回（全職員）＋特定業務職員1回
- 細菌検査の実施 年12回（調理員）

第1号議案

(3) 諸会議の開催

会議名	主催者	開催月
全体職員会議	苑長	毎月1回実施（月初火曜日）
事務局会議	苑長	定例実施はできませんでした。必要時に理事長に 来苑依頼し対応しました。
ユニット会議	ユニットリーダー	ほぼ毎週火曜日実施
グループ会議、施設改善班活動	主任	各々月1回火曜日に実施
自立支援計画検討委員会	F S W	年3回
献立作成会議	栄養士	毎月1回
避難訓練対策会議	担当者	毎月1回

(4) 職員研修

① 施設内研修

(敬称省略)

研修内容	対象者	講師・関係機関	回数
グループ活動（第三者評価から改善点への取り組み）	全職員	昨年度に引き続き、評価に向けて、改善策を検討し実施、記録にまとめた。	4回
テーマ研修（不審者対応、護身術）	全職員	大野警察署、	1回
指導研修（愛着障害、ライフストーリーワーク）	全職員	児童相談所	4回
ケース・支援会議	各階職員	児童相談所、特別支援教育センター、スクラム福井、関係学校、大野市	3回
児童相談所との連絡会	各階職員	児童相談所	6回
施設改善班活動	全職員	施設内で年齢別の班を編成し、改善点を話し合う。	6回

② 施設外研修・行政説明会への参加 **太字：リモート研修**

研修内容	主催者	回数	参加人数
中部養協指導職員研修（石川）	中部児童養護施設協議会	1	2
本派クラブ研修会（山口大会）	浄土真宗本願寺派協議会	1	7
全国児童養護施設中堅職員研修会	全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会	1	3
家族療法スーパーバイザー招聘研修会	福井県総合福祉相談所	2	4
ソーシャルワーク実習報告会	福井県立大学	1	1
苦情解決セミナー	福井県社会福祉法人経営者協議会 福県社会福祉協議会	2	2
施設職員オンライン研修	B 4 S（ブリッジフォースマイル）	3	4
感染症リーダー研修会	福井県健康福祉部	1	1
福井県釈迦の養護施設ユニットリーダー・グループケアリーダー養成研修会	福井県社会的養護施設協議会	1	2
子ども食堂シンポジウム	福井県	1	2
愛着に障害のある子供に寄り添って	白梅学園	1	1
退去者支援研修会	全国自立支援ホーム協議会	1	1
全国里親大会	厚生労働省、山梨県里親会	1	1

第1号議案

自立支援セミナー	親子関係支援センターやまりす	1	1
福さとサークル	福井県フォスタリング推進ネットワーク	1	2
移行支援・ケース・アセスメント会議	奥越特別支援学校、有終南小、開成中、松原病院、児童相談所、大野高校、市水の郷、各地区要対協	14	19
ソーシャルワーク実習関係者会議	福井県立大学	1	2

(5) 退職・福利厚生

職員福利厚生	① 職員福利厚生の充実のため、有期契約職員も含め、全職員の福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入 ② 職員に対する定期健康診断の実施
--------	---

3 ボランティアの受入れ

実施日	ボランティア団体・個人	内容
5月8日	中部地区民生委員児童委員会 様	児童と委員の方でプランター花苗植付
11月27日 3月5日	石田且吉様	そばボランティア

4 寄付

寄付年月日	団体・個人	内容
4月2日	Daska&Desiree 様	チョコレート
4月4日	三島義雄 様	ビワミン
4月4日	福井銀行教育福祉財団 様	入学祝い金 60,000円
4月29日	北陸電力労働組合 様	DVD, カードゲーム、お菓子
5月7日	フードバンク愛知 様	米
5月8日	中部民生・児童委員協議会 様	花苗
5月16日	学校法人 実践学園 様	素食カレーフレイク
5月31日	フードバンク愛知 様	米
6月4日	コーナーストーン 様	菓子
6月5日	匿名 様	米
6月6日	マルハン 様	菓子、飲み物
6月13日	松谷 由美 様	コンサートチケット
6月14日	チュチュアンナ 様	靴下
6月14日	食卓クラブ 様	園芸栄養剤
6月20日	オーカワパン 様	パン
6月28日	日本漢字能力検定協会 様	漢字検定過去問題集等
7月5日	卒業生 折原 翔 様	現金 200,000円
7月5日	匿名 様	きゅうり
7月13日	次郎内 様	じゃがいも
7月22日	セブンイレブン 様	洗剤等
7月27日	荻野浄子、斎藤敏子 様	飲み物

第 1 号議案

8月5日	斎藤正七郎 様	スイカ
8月8日	岸山 伸子 様	スイカ
8月10日	次郎内 様	スイカ
8月12日	マルハン 様	菓子
8月22日	加藤愛子 様	米
8月26日	福井県社会福祉協議会 様	玄米
8月26日	大野市北部民生児童委員協議会 様	現金 5,000 円
9月12日	BNR 様	ナス
9月16日	林 澄夫 様	米
9月20日	荒井 様	スイカ
9月27日	匿名 様	ネギ
9月27日	チュチュアンナ 様	靴下
10月1日	フードバンク愛知 様	米
10月3日	フレーベル館 様	本
10月12日	坂本 様	米
10月12日	コーナーストーン 様	菓子、食品、米
10月22日	フードバンク愛知 様	米
10月27日	マルハン 様	菓子
11月1日	荒木正和 様	漫画本
11月6日	清水 様	米
11月11日	伊井 聖悟 様	漫画単行本
11月28日	匿名 様	サッカーボール
11月28日	全国シャンメリー共同組合 様	菓子
12月1日	カナカン 様	インスタントラーメン
12月15日	チュチュアンナ 様	靴下
12月15日	フードドライブ 様	菓、飲み物、米
12月22日	東京海上日動火災保険株式会社 様	アイスクリーム
12月29日	日本鏡餅組合 様	鏡餅
12月29日	日本出版販売株式会社 様	本 93 冊
12月30日	コーナーストーン 様	菓子
1月21日	おしえてくもくんプロジェクト様	絵本
2月16日	マルハン 様	菓子、コーンポタージュ、消毒液
2月17日	優里 様	子ども用ギター
2月20日	吉田真弓 様	玩具等
2月21日	オーカワパン 様	パン
3月14日	岩本光弘 様	書籍
3月14日	コーナーストーン 様	菓子
3月20日	匿名 様	米
3月28日	岸本利浩 様	現金 20,000 円
3月31日	Daska&Desiree 様	チョコレート

第1号議案

5 実習生・体験実習等の受入

(1) 実習生の受け入れ（各学校からの依頼）

受け入れした学校名		実習期間	人数
実習生	仁愛女子短期大学	7月29日～8月8日	2名
		8月18日～8月28日	2名
	福井医療福祉専門学校	5月16日～5月27日	1名
	福井県立大学	10月3日～11月1日	2名

(2) 体験実習の受け入れ（本人からの申し込み）

実施日	参加人数
10月19日、11月1日、2月11日（ケアワーカー体験実習）	3名
6月11日～12日、9月10日～11日、1月14日～15日（里親実習体験）	7名

(3) 施設見学・仕事説明会

(施設内説明会)

名称	実施日	参加人数
第1回施設見学会・仕事説明会	5月15日	1名
第2回施設見学会・仕事説明会	7月17日	0名
第3回施設見学会・仕事説明会	9月18日	1名
第4回施設見学会・仕事説明会	10月9日	1名

(施設外説明会)

- ・今年度は参加しませんでした。

6 苦情処理

- ・保護者からの児童に対する児童相談所の面接実施記録について開示請求がありました。
 (対応) 面接実施は、児童相談所の管轄であるため、児童相談所と相談しました。
 →「面接実施記録については、個人情報であり、開示できない」と回答しました。

・児童への対応

各ユニットで児童会を開催し、児童の意見や要望を聞きました。また、各ユニットの意見箱を設置し児童が自分の意見を表明しやすいようにしています。ユニットで対応できない意見については、運営委員会等で検討し、可能な限り児童への説明・回答をしました。

(児童会での意見・要望等) 意見箱から

- ・みんなで遊んだのに、後片付けは、自分の使ったものだけしか片づけない人がいる。
 →みんなで使ったものはみんなで、自分の使ったものは自分で片付けましょう。
- ・なぜタブレットは宿題の時しか使えないのか。
 →使用のルールを確認し、宿題やオンライン授業のみ使用可能なことを再度確認した。
- ・小学生も自分のパソコンを持てるようにしてほしい。
 →5年生から持てるようにした。ルールを決め、自分の小遣いで購入することとした。

第1号議案

7 里親養育支援等について

正式には里親支援専門相談員を設置できていませんが、担当職員を決めて対応しました。

- ・福井県家庭擁護推進ネットワークフォスタリング事業部（福さと）が担当し当苑も参加しました。
- ・取り組んだこと
 - ① 普及啓発活動
 - パネル展示（サンプラザ）
 - 制度説明会とチラシ配り（図書館、結とびあ、大野市役所、すこやか、サンプラザ）
 - ポスター掲示（図書館、結とびあ、すこやか、サンプラザ）
 - ② 里親登録前研修 3回実施
 - ③ 里親登録後研修 3回実施
 - ④ 里親サロン 奥越サロン：3回実施（3か月に1度の割合で開催）、他のサロンや移動サロンにも参加
 - ⑤ ウィークエンドステイ（家庭生活体験事業：里親家庭で児童が一般家庭の生活を経験する）
 - 利用児童 4名（保護者及び本人の承諾を得たうえで実施）
 - 地域 永平寺町、福井市2、鯖江市
 - 令和4年度実施状況 1日（4名） 8回 1泊2日（1名） 3回
 - ⑥ 福さとや里親関係の会議（水曜日または木曜日開催）や研修会に参加しました。

- ・里親委託率 県目標 令和6年度 23% 令和9年度 40%
令和4年度末21.7% （←令和3年度末20.6% ←令和2年度末17.8%）

- ・ウィークエンドステイとは

「施設に入所している児童に、家庭生活を体験させ、個別的な支援の向上を図り、もって児童の健全育成に資するとともに、将来の施設退所後の自立を促進することを目的として実施するもの」

実施方法：里親家庭で、週末等に月1回程度、長期休暇中は数日間宿泊も可能とし、年間延べ30日を上限に生活を体験する。対象は、家族との交流機会がないか少ない児童です。

8 第三者評価受審結果について

令和5年2月20日、21日に受審し、令和5年5月1日結果受け取りました。評価結果をまとめたものが右の表です。

C評価は、ボランティアの受け入れに関するもので、ボランティアの受け入れはしていますが、受け入れに関する手続等を整備する必要があるとのことでした。

養育・支援については前回同様C評価がなく、継続して職員が、養育・支援に一生懸命取り組んでくれたおかげです。

評価結果に加えて、改善が必要な事項も指導いただきましたので、今後は、さらに管理・運営や養育・支援について、改善点を話し合い、より良い方向に行けるようにしていきます。

また、今回は、児童の施設に対するアンケート結果については報告がありませんでしたが、常に児童の意見や思いを汲み取りながら支援をし、安心して安全に心穏やかに楽しく過ごせる施設を目指します。

<管理・運営>	a	b	c
I 養育・支援の基本方針と組織	7	2	
II 施設の運営管理	10	7	1
III 養育・支援の質の確保	12	6	
<子どもの養育・支援>			
A-1 子ども本位の養育・支援	5	1	
A-2 養育支援の質の確保	13	5	
合計	47	21	1
(R5 割合%)	68%	30%	1%
(R4 割合%)	54%	37%	9%

第1号議案

<2>おくえつ児童家庭支援センターめぐみの運営（第2種社会福祉事業）

1 職員配置状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
所長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
心理士	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
非常勤計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

2 相談・指導実績

(1) 月別相談延べ件数

相談方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	57	43	17	43	36	39	29	35	31	33	26	19	408
来所	17	13	9	5	5	2	2	7	7	7	7	12	93
訪問	10	8	7	13	12	8	5	8	11	13	12	7	114
心理	14	2	22	16	18	14	17	8	18	10	11	20	170
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (ライン)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	98	66	55	77	71	63	53	58	67	63	56	58	785

(2) 相談・指導内容の種別延べ件数

養護相談		保健	障害	非行	育成相談				いじめ	DV	その他	合計
養護	虐待				性格行動	不登校	適性	しつけ				
258	155	64	31	0	31	194	83	0	26	0	48	785

(注1) 相談種別が2つ以上に該当するときは、主な相談のみに計上。

(注2) 相談内容の分類は、厚生労働省「児童相談所運営指針」の「相談種別」の分類表（児童相談所の分類）に準ずる。

(3) 相談の経路別受付延べ件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び医 療機関	学校 等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上 本人	里親 里子	その 他	合計
児童 相談所	福 祉 事務所	その 他	保育 所	その他									
42	303	0	0	71	7	133	184	1	0	38	0	0	785

第1号議案

(4) 児童相談所からの受託による指導

① 対応延べ数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実人数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人

② 指導内容の種別

養護	虐待	保健	障害	非行	育成相談				いじめ	その他	合計
					性格行動	不登校	適性	しつけ			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 時間外（含む夜間）の対応および一時保護件数（延べ件数）

○個別対応延べ件数

時間外の対応			一時保護
来所	電話	訪問	件数
0	28	0	0

4 他機関との連携

会議等の名称	参加者	実施回数	会議等の内容
大野市・勝山市要保護児童対策地域協議会（代表者会議・実務者会議）	要保護児童に関わる機関の代表者・実務者	2	各機関の活動報告、情報交換および今後の運営等について（コロナ禍のため代表者会議、実務者会議は書面のみ。）
個別ケース会議	大野市・勝山市内でそれぞれのケースに関わる担当者	12	現状の把握や今後の方針、どの機関がどのように関わるか等を話し合う
大野市いじめ防止対策会議	大野市教育委員会・青少年教育センター・福祉こども課・めぐみ各担当者	6	大野市青少年教育センターを拠点として、市内の小中学校で不登校状態の児童生徒への対応を中心に、いじめ等の問題に幅広く対応する。
奥越地区障害者自立支援協議会	相談員	2	加盟する大野市内の障害者自立支援協議会の会議
地域における若者支援機関等とのネットワーク会議	相談員	2	市役所、民生児童委員、大野高校定時制の担当者が引きこもり状態の若者の支援について話し合う。
大野市2歳児健診	臨床心理士	10	大野市の2歳児健診に臨床心理士を派遣する。
フレッシュハウス訪問	相談員	10	青少年教育センター内にあるフレッシュハウスを訪問し、不登校児童・生徒の相談や学習指導をする。
おひさま広場	臨床心理士	12	福井県が主催する大野市勝山市在住の保護者のための育児不安解消事業
支援会議	相談員	5	学校等の個別の支援会議に参加

第1号議案

5 ヤングケアラー支援研究事業について

① 期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

② 対象者 3名

令和4年4月1日開始時、対象者は2名でした。年度途中で、さらに1名が、関係機関からの情報をもとに、状況を調査、検討した結果、対象者として追加しました。

対象者の概要は下記のとおりです。

A：高校2年 女子 開始時から

本児が、年齢の離れた弟を可愛がり、母の代わりに、幼児の頃から、授乳やおむつの交換を担ってきた。小学校高学年から不登校気味になり、高校卒業が危ぶまれている。

B：高校1年 女子 年度途中から

家族の健康状態がよくなく、仕事も不十分であり、収入が不安定であり、世帯の収入が低く、本人のアルバイト代が家族の生活を支える状況になっている。

C：中学1年 男子 開始時から

母の状態が悪く、生活全般で本児に頼ることが増えてきている。登校しぶりも見られる。

③ 支援内容

a 心理士が母や本人と定期的に（月1回程度）面談をしました。

b 対象者の状況に応じて、週1回から月1回程度家庭訪問をし、家事の支援をしたり、困りごとを聞いたり、一緒に買い物をしたり、場合によっては家族の通院同行もしました。

c 学校と連携しながら、学習支援、外出支援をしたり本人と将来のことや進路のことを話したりしました。

d 相談者が、家庭訪問する中で対象者の話し相手になったり、学習の補助をしたりしました。

e 自転車・食品等、本人や家族のニーズに合ったものを届けました。

f 家族の話を聞き、関係機関と連携を取りながら支援につないだり、いろいろな手続き時に同行したりしました。

④ 今後の支援

令和5年度も支援を継続していくことになりました。支援の工夫をしながら、対象者が少しでも自分の時間を確保したり自分の生活を取り戻せたしでできるるようになっていきたいと考えています。

<3>子育て支援事業の運営（第2種社会福祉事業）

一時保護、ショートステイ、トワイライトステイ件数

一時保護	ショートステイ	トワイライトステイ	その他の保護*	合計
0 (0日)	4 (6日)	0 (0日)	0 (0日)	4 (6日)

※（ ）内は延べ日数 件数は利用者実人数 *主に休日預り

III 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1 理事会の開催

第1号議案

第1回理事会 5月30日(月)	第1号議案	令和3年度事業報告について
	第2号議案	令和3年度収支決算について（含む令和3年度社会福祉法人日の出善隣館社会福祉充実残高の算出結果）（監事監査報告）
	第3号議案	会社役員賠償責任保険の契約について
	第4号議案	令和4年度定時評議員会の開催について
	報告	理事長職務執行状況報告
第2回理事会 3月13日(月)	第1号議案	令和4年度補正予算（案）について
	第2号議案	令和5年度事業計画（案）について
	第3号議案	令和5年度収支予算（案）について
	第4号議案	会社役員賠償責任保険の契約について
	第5号議案	評議員辞任に伴う補欠評議員候補者の推薦（案）について
	第6号議案	評議員選任・解任委員会の開催日（案）について
	第7号議案	令和4年度第2回評議員会の日時及び議題（案）について

2 評議員会の開催

定時評議員会 6月16日(木)	第1号議案	令和3年度事業報告について
	第2号議案	令和3年度収支決算について（含む令和3年度社会福祉法人日の出善隣館社会福祉充実残高の算出結果）（監事監査報告）
第2回評議員会 3月29日(水)	第1号議案	令和4年度補正予算（案）について
	第2号議案	令和5年度事業計画（案）について
	第3号議案	令和5年度収支予算（案）について

3 監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
監事 徳山 孝晴 井部 淑子	令和4年5月23日(月)	法人定款第11条第1項の規定に基づき、令和3年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

IV 施設管理等

1 事務関係

情報公開	ワムネットでの財務諸表の公表
事務管理の適正化	経理規程、文書管理規程に基づき事務を実施。

2 設備関係

施設設備の修理・工事	① 電気温水器、洗濯機、水道設備等の修繕
施設設備の保守点検委託業務	① エレベーター（法定検査1回） ② 水質検査（法定点検2回） ③ 浄化槽（法定清掃2回） ④ 防災設備（法定点検2回） ⑤ 電気設備（法定点検6回）

第1号議案

施設設備の管理業務	① 棟内清掃（毎日） ② 廃棄物処理（指定日） ③ 水道の塩素確認（毎月）と塩素濃度確認（毎日）
-----------	--

3 施設設備・備品関係（令和3年度に購入・買い替え等をした主なもの）

- ・土地購入
- ・公用車 1台（スズキエブリィ）
- ・中庭西側ボールネット 1基
- ・パソコン 4台
- ・除雪機 1台
- ・浄化槽ポンプ新調
- ・トランポリン 1台
- ・冷凍冷蔵庫（厨房）
- ・上水道引き込み工事
- ・コロナ対応用品（検査キット、消毒液、マスク等）

4 災害対策

（1）防災・避難訓練 火災想定避難訓練のみを実施

実施日	訓練内容	備考
4月25日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
5月28日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
6月16日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
7月30日	夜間想定避難（避難、消防署通報、人員確認）	職員夜間連絡・集合訓練を含む
8月27日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	消防署通報訓練、消防署の指導、消火訓練実施（全員実施）
9月25日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
11月21日	不審者対応避難訓練（不審者対応と児童の避難）	
12月24日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
1月15日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
2月25日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	
3月21日	火災想定避難（避難、人員確認報告訓練）	

※9月16日 消防設備点検 大野消防署の方に来ていただき、点検と指導を受けました。

（2）安全点検・安全管理

○本館、ユニット棟、厨房、めぐみ 各担当が毎月実施

○遊具（滑り台、鉄棒） 毎月実施

□事故及びヒヤリ・ハットメモの回収 3件

①事故：お茶をこぼし体にかかりやけど。ねじとナット間に指を挟み皮膚がはがれた。パソコン基盤を外した時ショートして火花、合計3件

②ヒヤリハット：0件

5 施設見学対応：施設の概要説明と施設見学

○7月28日 大野市区長会環境福祉部 9名